

理学療法士の ゴルフ 談義



ニューヨークもゴルフシーズンになりましたね。皆さんの中にも友人とプレーしたり、会社の同僚の方とプレーしたりとワイワイ楽しくゴルフをされる方が多いと思います。それもゴルフの楽しみ方の一つですが、たまには試合に出て力試しをするのもありですよ。プライベートクラブに所属している方は「クラブチャンピオンシップ」などシーズンを通して様々な試合イベントがあります。「でもクラブに所属していない人はハンディキャップも取得できないし、試合には出られないよね」と思われるかもしれないですが、アメリカでは各地域のゴルフ協会がシーズンを通して、どなたでも参加できる様々なイベントを開催しています。私も以前はそれらの大会に参加して楽しんでいました。

地元開催のトーナメントで力試し！？

ニューヨーク近郊で代表的なゴルフ協会は、①MGA (Metropolitan Golf Association) ②LIGA (Long Island Golf Association) ③Westchester Golf Associationがあります。シーズンを通して様々なイベントや大会を開催しているの自分の実力とスケジュールに合う大会にエントリーすることができま

す。中にはスクラブルプレー(ベストボールを選んでプレーするスタイル)などの大会もあるので仲間内で参加してワイワイ楽しむようなイベントも用意されています。こうした大会に参加することはいろいろな楽しみ方がありますが、例えば以下のような楽しみを与えてくれると思います。



- 1 試合形式でゴルフを楽しむことができる。ゴルフに限らず、テニスや音楽なども、大会やコンクールがあるから楽しみが増すというところが多いですよ。上手いプレーヤーと回ることが出来る。参加者全員が同じ土俵の上です。初めての参加者、何年も参加し続けている常連など様々なプレーヤーがいます。運が良ければ前回優勝者といった上手な方のプレーを間近で見ながらプレーすることもできます。
- 2 普段回れないコースを格安でプレーできる。大会が行われるコースは名門と呼ばれるコースが殆どです。そしてその参加費は比較的にリーズナブルです。普段では絶対にプレーできないプライベートコースなどでも手頃な値段でプレーできてしまいます。
- 3 ネットワークが広がる。気が合えば、全く知らない人でも「今度一緒にラウンドしよう」といった感じでネットワークも広げられるのもゴルフの良いところですよ。
- 4 参加条件は基本的には地元のゴルフ協会に所属していることと、ハンディキャップを取得していることです。ゴルフ協会への所属はそれほど高くありません。例えばMGAメンバーシップ料金は年間60ドルです。ハンディキャップはGHINと呼ばれるシステムに登録すればどなたでもオ

高田 洋平 (理学療法博士)

コロニア大学医学部附属理学療法学科卒業 / New York FuncPhysio クリニック 医院長 / JWGA (Japan Wellness Golf Association) 理事

ゴルフリハビリ、トレーニングを学びたいと渡米。ゴルフ好きが高じてNY日本人コミュニティではNo1の実力を持つ。いくつかの大会での優勝、そして米国ゴルフクラブのクラブチャンピオンにも輝いている。自身の経験を生かし、身体からゴルフを向上させるFuncGolf メソッドを教えている。

New York FuncPhysio クリニック: Midtown Manhattan にある医療クリニック。首肩腰の問題や、捻挫などの怪我、アゴの問題、そしてウィメンズヘルスを専門としている。治療内容: 理学療法、徒手療法、レーザー治療、鍼治療、マッサージなど



こちら難しいことはなくニューヨーク近郊のゴルフ場(パブリック含む)で登録し、自分でラウンド毎にスコアを入力するとハンディを取得できます。このハンディが各大会の参加基準になります。「大会に出る!」そんな目標ができるゴルフの楽しみも倍増します。ニューヨークではシーズンを通して、こうした大会が頻繁に行われているので一度参加してみたいかがでしょうか?

COME TO AMERICA

deluxe

2022年度 最新版発刊!

アメリカでビジネスを成功させる本

お求めは下記、もしくは日系書店にて

<https://www.ujp.com/ujp> ショップ

在米日系企業の
動向が分かる。

Cyber Security の現状と対策
DX を成功させる2つのアプローチ
英語喉で発音をマスター
今昔、海底ケーブル物語

“環境問題”に
どう対応するか

- 商機を探る米国企業
- EVバッテリーと半導体
- 脱炭素時代へ